

住人十色

第 65 回

内子町在住の生徒と先生が活躍 日本学校農業クラブ全国大会へ

大洲農業高等学校プロジェクト発表チームの皆さん



◎ (後列左から) 水本先生、二宮先生(前列左から)金元さん、花岡さん、佐伯さん。大洲農業高等学校に掲げられた懸垂幕の前で。

「第65回日本学校農業クラブ四国大会」で、大洲農業高等学校がプロジェクト発表の「環境」「食料・生産」の2部門で最優秀となり、10月22日から沖繩県で開かれる全国大会に出場します。この大会は生徒たちが日頃の学習成果を発表する、農業高校の甲子園。同校は内子町在住の水本豊先生(生産科学科)、二宮忠士先生(食品化学科)の指導で「脇川の環境保全」「町の伝統野菜」などの研究をまとめました。

校訓が「どこに出しても恥ずかしくない人間になれ/国家社会の役に立つ人間になれ」という大洲農業高等学校。地域に開かれた学校として、内子町や大洲市で商品開発やイベント参加、河川保全など、さまざまな活動を行っています。

プロジェクト発表チームの一員で、内子町在住の花岡朋乃さん、佐伯茉耶さん、金元寛樹さんは「活動内容はどこにも負けない」「人との関わりが好きになる活動」「学習したことが将来に役立つ」と発表内容に自信をのぞかせます。

二宮先生が「大会ごとに成長する生徒たちの姿がうれしい。自分たちの頑張りをもっと発表してほしい」と激励すると、水本先生は「地元の農業高校として、これからも生徒たちと共に地域に貢献したい」と力強く語りました。

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130



編集 幸記

▽私の家では犬1匹、猫2匹を飼っています。家の中で、幸せそうにゴロゴロしている3匹と妻を見ると癒されます。取材では、命の大切さをあらためて学ぶことができました。少しでも早く、不幸な動物たちがいなくなることを願います(裕)

▽今月の「はじめてのペースデー」は、久しぶりにページが埋まりました。いろいろな表情があり、また名前には家族の想いを感じ、毎月ほほ笑ましく心とみます。そして、「40回目のペースデー」を迎える私なのでした(佳)